

平成 30 年度特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘・みどりの丘

事業報告書

I. 事業方針

施設運営で一番の課題は福祉サービスを担う人材が不足し需要に対して人手が追いつかない「超人手不足」の問題であった。

今後もよいサービスを提供するためには人材の確保と育成は欠かせない。

今年度も退職者はいたがその後の求人活動で適正シフトは確保できた。

引き続き安全・安心な介護サービスができる体制を整えていく。

II. 事業目標

介護予防のグリーンサロンから看取り介護を行うことができる施設入所まで地域の高齢者のニーズに答えることができる施設として役割を果たすように努めた。高稼働率の維持も継続できた。

III. 事業実施計画

(1) 介護老人福祉施設事業

① 地域の優良施設になること

麻生区の中堅施設として地域の皆さまに信頼して頂き地域の優良施設となるべく努力を続けていきたい。

② 働き方改革

介護職員の労働環境を問われるなか離職率の高さと人手不足の改善が見込めないため、働く環境の改善を進めた。ユニットの夜勤は 22 時から 21 時、多床室のロング夜勤は 1 時間の短縮を行い働きやすい環境を整えた。

③ 安定した稼働

- ・入院者が稼働率を下げる大きな原因になっていたが今年度は入院者が増加してしまったため稼働率は低下した。インフルエンザ発症もあり空所利用ができない時期があったことも稼働を下げる原因になった。

④ 目標稼働率

入居稼働率はユニット 96%・従来型 93%、
を目指したが入院者が増えたため若干下がった。

(2) 短期入所生活介護事業

川崎北部地域では特養が乱立している状況で要介護 3 以上の待機者が減少し
ショートステイ利用者も減少しているなか苦戦した。以前のようにロングステイの
方は特養への入居ができてしまうため減少、利用者の出入りは多くなった。

① 営業活動の強化

- ・営業方法の多様性と分析には課題が残った。
- ・営業用としてホームページの充実を図った。
- ・特養の空床情報発信を行った。

② 受け入れ体制の配備

- ・365 日相談員を配置し土日祝日の受け入れを行っていることが高稼働に
結びついているため今後も継続し受け入れていく。
- ・緊急利用の受け入れも積極的に行った。
- ・医療と連携し医療依存度の高い利用者の受け入れを行った。

③ サービス内容の充実

- ・接遇マナーの取り組みは行ったが課題も残り今後も継続していく。
- ・機能訓練士による体操や認知症予防の脳トレーニングを日課として行った。
- ・介護の質の向上のため介護手順書を作成した。

④ 上記の取組努力の結果、稼働率 120%を目指し維持できた。

(3) 通所介護事業

① 発信力のあるデイサービス

地域への発信力を高めるため地域居宅事業所を招いて「ランチ会」を行い
利用率を高めることに努めた。

今後も各居宅事業所との連携を密にする事によりさらなる信頼関係を深めていく。

② サービス向上と情報共有の強化

毎月リーダー会議を実施し、スタッフ全員で情報共有することによりサービス内容の質の向上を図った。

これからもスタッフ一員として施設の理念と方針の理解を深めていく。

③ 平均稼働率 85%を目指したが目標には至らなかった。

(4) 居宅介護支援事業所

平成 30 年度の法改正により地域包括ケアシステムの強化・医療介護の連携
地域共生社会の実現に向けた取り組みの方向性になった。

① 行政、医療、地域包括、民生委員、他事業所、他職種と連携を取り、共に援助を行い在宅の高齢者を地域で支えられるように地域と連携を図った。

制度、資源など情報を共有しチーム力を高めるように努めた。

② 新規契約者の確保（稼働率の維持）

新規契約者の確保として近隣の病院（医療連携室等）、地域包括支援センターや地域の社会資源を活用する事によりネットワークを構築し、新規契約者の確保が出来るように活動を行った。

③ 研修等の参加と協力

公的な研修への参加、地域の勉強会などへ積極的に参加した。

④ 自立支援、自己決定の尊重を第一に考え、ケア、マネジメントプロセスをきちんと踏み、利用者の自立支援に資するケアマネジメントを行った。利用者の”要介護度

“に応じた介護サービスを組み合わせた在宅支援を行った。

⑤ 通所介護、短期入所、特養への架け橋の役割を担った。

(5) ふれあいグリーンサロンの終了

地域の介護保険の認定を受けていない人を対象にしたサロンは3年目を迎え介護予防の視点から楽しみながらできる「いきいき予防体操」のプログラムを展開し在宅生活を維持していくお手伝いを行ってきた。

サロン参加者は他の体操教室にも参加されているようなお元気な方が集まっていることと今回指導者の都合により一旦終了することになった。

IV.介護サービス指針

(1) 安全な三大介護を行う

介護の基本である「食事・入浴・排せつ」の三大介護を介護職全員が確実にでき、入居者様にとっても介助者にとっても安楽な介護技術に取り組んだがスタッフ間のスキルの開きもあり今後の継続も必要である。

(3) 介護の質の向上

食事（栄養）、排泄、褥瘡など専門職との連携を深めより専門的な視点に基づき介護の質を高めていくための「専門職会議」の話し合いができた。

(3) 入居者様に笑顔を

入居者様に笑顔・・・とクラブ活動、リクリエーション、外出など楽しいイベントの実施ができ笑顔が引き出させた。
この結果、みどりの丘は楽しいと言って下さる方が多い。

(4) 挨拶ができる

挨拶と環境整備の大切さを22年オープン時より継続的に取り組んできた。
整理整頓されたきれいな施設で、職員全員が気持ちよい挨拶ができるように取り組んできた。今後も継続していく。

V. 提供するサービス内容

(1) 行事・イベント・カフェの実施状況

4月	お花見	花見はフロア毎に実施 「桜カフェ」ではイチゴのスイーツを提供
5月	端午の節句	バラ苑外出レク実施
6月	開設記念日	「ボランティアさん感謝の集い」を実施
7月	七夕	流しソーメン 田園調布学園ゼミ学生さんと七夕レクを実施
8月	納涼祭	多数のご家族様、ボランティアさんが参加
9月	敬老会	演歌ショーとお祝い御膳で祝う
10月	お月見	「秋カフェ」で栗のスイーツを提供 ズーラシア動物園外出レク実施
11月	作品展	よむうりランドイルミネーションツアー実施
12月	クリスマス会	フロア毎にクリスマス会実施
1月	お正月	「新春カフェ」でお汁粉と和菓子を提供 みどり神社での初詣実施
2月	節分	お相撲さんによる豆まき実施
3月	ひな祭り	雛人形

(2) クラブ活動の実施状況

クラブ名	内 容	開催頻度
囲碁クラブ	① 初心者には入門教室がある ② 囲碁仲間が集まり碁を楽しむ	48回開催
昭和歌謡クラブ	① 懐かしの昭和の歌謡曲を歌う ② 声を出すことでストレスを発散 ③ 好きな歌を好きなだけ歌える	24回開催
書道クラブ	① 筆を持って書を書く ② 季節に合わせた文字を描くことで	毎月開催
料理クラブ	① 簡単なおやつを作って食べて楽しむ ② エプロンをつけ料理を作る	開催できず
美容クラブ	① 美容部員の方と一緒に化粧をする ② 化粧品の香りや化粧動作がリハビリにつながる	5回開催
手芸クラブ	日本の風習にちなんだ手芸品を作る	4回開催

VI.職員研修計画と活動

(1) 定例研修

研修の実施状況

実施月	研修内容	実施日
4月	度事業計画の説明とモラル法令順守に関する研修	4/16・17・19・20・22
5月	食中毒の予防、蔓延防止に関する研修と事例検討	5/22・25・28・29・30
6月	褥瘡対策に関する研修・看取りに関する研修	6/25・30・7/6・11
7月	非常災害に対応する研修（夜間想定）	7/4
8月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	8/18・19・20・21・24
9月	高齢者虐待防止（身体拘束）と不適切ケアに関する研修	9/21・23・26・27・28
10月	感染症の予防・蔓延防止に関する研修と事例検討	10/5・6・8・9
11月	非常災害に対応する研修（通報）	11/7
12月	高齢者の安全な食事に関する研修	12/20・22・23・27・28・
1月	事故の発生またはその再発防止に関する研修	1/27・28・29・31・2/2
2月	インフルエンザ発症のためお休み	
3F月	看取りの研修	3/26・28・4/2・5・8

(2) 会議

会議の実施状況

会議	出席者	開催頻度	開催回数
定例会議	施設長、副施設長、課長 各専門職、介護チーフ 介護リーダー	第1木曜日	12回
給食会議	事務長、副施設長、 給食業者	毎月第4木曜日	12回
フロアー会議	介護チーフ・リーダー フロアースタッフ	月2回	12回
ナース会議	看護師、副施設長、栄養士	2回/日	730回
カンファレンス サービス担当者会議	CM、介護チーフ 居室担当者 栄養士、看護師、ご家族	随時	随時
専門職会議	介護、相談員、CM、看護 師、栄養士、機能訓練士	毎週木曜日	48回

(2) 各委員会

スタッフによる委員会活動

	内 容	開催回数
納涼祭委員会	① 納涼祭の企画・運営 ② 決定事項を 1F、2F に伝達	5 回
働きかた改革委員会	① 勤務体制の見直し（夜勤時間の見直し） ② ストレスを溜めない環境づくり ③ チームワーク	12 回
接遇美化委員会	① 社会人として当たり前のできる職員の育成 ② いつでも誰にも挨拶ができること ③ 整理・整頓された環境	6 回
防災委員会	① 年 2 回の避難訓練を実施 ② 安心して働く環境づくり（防犯を含む）	4 回
入退所委員会	① 川崎市の指針に合わせた入居者選び面談を行う ② 面談シートに基づき入所判定を行う	4 回
事故再発防止委員会	① 発生した事故検討と再発防止の提案 ② 再発防止後の再評価を行う	12 回
感染予防委員会	① 食中毒および感染症防止の検討 ② インフルエンザ、ノロウイルスなど各感染症防止の啓発活動	4 回
身体拘束廃止委員会	入居者様の尊厳ある生活をして頂くためにも安易な身体拘束をしないことを施設全体として取り組む	12 回
褥瘡予防委員会	① ハイリスク者の把握する取り組み ② 予防のための計画の作成と評価	4 回

